

新! 中央公民館ができるまで 06



町産材を使った柱や梁で出来た会議室ゾーンの、建て方工事の様子

新しい中央公民館の建設がスタートしました!

新中央公民館「多賀 結いの森」をつくるにあたっては、地域の皆さんとともに開館に備えるため、林業・食・教育など様々な分野の専門家をお招きした研修会、「ふるさと多賀の食まつりイベント」といったイベント、町の方々と取り組むモノづくり活動などを進めてきました。今年はいよいよ工事に着工し、少しずつ建物が出来上がってきています。その過程を紹介していくことはもちろん、さらなる研修会やイベントも計画しているので、今後の活動に興味をお持ちの方は、裏面に記載の生涯学習課までお問い合わせください!



様々な工事が進んでいます

新多賀町中央公民館 - 多賀 結いの森 - 観察記録 vol.01



屋根や壁がつけられて建物の輪郭が現れ始めています

杉の子作業所の皆さんとの 切り絵ワークショップ

新中央公民館と隣り合う杉の子作業所さんの新しい仕事づくりを考えるプロジェクトが、少しずつ前に進んでいます。皆で大きな紙に自由に色を塗る前回のワークショップに続き、色紙を思い思いに切り貼りして模様を描く作品づくりを行いました。明るい色や落ち着いた色、ハサミで切ったり手でちぎったりと様々な方法を選びながら進め、絵とは表情が違う立体的な作品が出来上がりました。これらの模様をカーテンやバッグなどの布製品に展開できないか考えています。

新しい中央公民館には こんな場所があります



PART.5 多目的室

エントランスから入った土間ホールのすぐ隣には、レクチャーやヨガ、軽運動などに使える多目的室があります。扉を開けることで土間ホールと一体的に利用することもでき、中庭に面した明るい窓辺を背景にして、練習の成果発表を行ったり、ミニコンサートを開いたり、柔軟な使い方ができるスペースとして計画しています。



色紙を自由に切る所からスタート



模様づくりの様子



エントランスから見た多目的室と土間ホール

公民館の未来って? こんな場所を目指しています! vol.06

新公民館の建設工事が始まっています。日に日に姿を現してくる新公民館の様子を見ると、開館が迫っているのだという実感が湧きます。現在、語ろう会では開館に向けた準備を進めており、2019年3月には竣工式や開館セレモニーを開催する予定です。開館セレモニーでは昨年度イベントを開催した「ふるさと多賀の食まつり」の本イベントも開催する予定です。また、今回の広報紙からインタビューシリーズが始まりました。このシリーズは、滋賀県立大学の Taga-Town-Project の学生さん達が、公民館に関わる人々にインタビューをして紙面を作ってくれるものです。新公民館の開館に向け、色々な人が関わってくださり大変ありがたいと思います。たくさんの人が関わって、それぞれの想いが詰まった新公民館。町民のみなさんが集い、学べる、大切な場所となるように、今後も「多賀語ろう会」の活動を進めてまいりますので、興味をお持ちの方はぜひ活動にお力をお貸しください。(生涯学習課)



いよいよ新公民館の建設スタート！
起工式が行われ、関係者で工事の安全祈願。2019年4月開館を目指し、建設工事が始まりました。



町産材の準備
新公民館に使うために町の山で伐採した木が、加工や乾燥を済ませ、木材として倉庫に集められました。



建物の基礎づくり
地盤を整え、鉄筋を組み、コンクリートを打ち…長い時間をかけた、しっかりとした基礎づくりが始まりました。



杉の子作業所さんと、2回目のものづくりワークショップを開催。新しく、色とりどりの模様が生まれました。

2018 2月.....3月.....4月.



.....5月.....6月.....7月 8月 9月 10月 11月 12月 2019 1月 2月 3月.....4月開館予定！

内装の工事が順番に進みます

竣工式

旧公民館からお引越し



地域の方々と取り組んでいる町産材を使ったオリジナルの家具づくりでは、肘付き椅子や机、本棚なども検討しています。



骨組みづくりがスタート！
基礎づくりを終えて、建物の骨組みとなる柱や梁を建て、屋根や壁の板を張っていく工事が始まっています。それぞれの居場所が分かるような建物全体の姿が現れ始めました。



楽しい開館セレモニーを計画中！
開館に先がけて、地域の皆さんと一緒に新しい公民館の完成をお祝いできるように、「ふるさと多賀の食まつり」などの色々なイベントを企画しています。

わたしは
中央公民館の

大岡 まゆみ さん
多賀町 生涯学習課 課長

館長を
しています



館長さんは中央公民館でどんなことをしていますか？

年齢問わず町民の皆さんが生涯学習として求めて来られることをより楽しんでいただける場所・機会を、あけぼのパークや多賀町役場と連携して、提供しています。

「多賀 結いの森」という愛称に決まり、どのように思いましたか？

愛称に込められた「木と木が集まった森のような」公民館のイメージと、多賀町の恵まれた森林資源や自然の豊かさという、地域性がとびつたりとあった名前だと思いました。

新中央公民館のどんな事や場所が楽しみですか？

現在、多賀町には固定の観覧席があるホールが無いので、「多賀 結いの森」のホールを利用して皆さんがいきいきと活動していただけるのが楽しみです。平屋で、ホワイエや土間ホールなどオープンなスペースが多く地域の皆さんが気軽に立ち寄っていただく場所があり、地域の皆さんと職員との交流も楽しみです。また、杉の子作業所さんの施設もあり、多賀の子ども達と作業所の皆さんが自然に交流できる場所でもあります。多賀町の皆さんにも、心優しいあたたかな人づくりの「多賀 結いの森」を楽しみにしていただきたいと思います。

新中央公民館 インタビューシリーズ vol.01

「多賀 結いの森」の **まる** **まる** さん、教えて！

新中央公民館にはできる前から、たくさんの人の思いやアイデアがつまっています！
今回、「多賀 結いの森」という愛称の決定にあたり関わられたお2人にインタビューしました。

わたしは
新中央公民館の

愛称を
考えました

小島 多喜 さん
多賀小学校 3年生



「多賀 結いの森」という愛称はどのようにしてできましたか？

新しい公民館には木がたくさん使われているので、森みたいだなと思いました。「結(ゆい)」には「助け合う・集まり協力し合う」という意味で、そんな場所になったらいいなと思って名前を考えました。

新中央公民館のどんな事や場所が楽しみですか？

いろんな遊びができそう。図書スペースにはどんな本が入るのか楽しみで、歴史の本とかあったらいいな。

新中央公民館のあったらいいな、やってみたいな！

おにごっこ、かくれんぼ、いろんな場所をめぐりめぐって遊びたい。キッチンでクッキー作りもしてみたい。今の公民館の工作室で陶芸をして楽しかったので、新しいところでもやってみたい。また、外に桜の木があったら、お弁当を持ってきて、外でもお花見したり、建物の中からもお花見できるといいな。

お母さんにもお聞きしました！

公民館に常に誰かが居ることで、親も安心して子どもたちを遊びに行かせられる場所になればと思います。また、多賀町の木が使われるのはとても貴重なことで、愛称をきっかけにより多くの方々に知っていただける機会になって欲しいです。